

令和8年2月13日

玉名中学校第1、2学年保護者 様

玉名市立玉名中学校
校長 森川 孝巳

熊本県及び玉名市学力・学習状況調査(12月)結果の概要と対策について

向春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では12月2日、3日に1、2年生を対象に「熊本県学力・学習状況調査」と「玉名市学力・学習状況調査」を実施しました。先日その結果が届きましたので、本校の調査結果の概要と今後の対策等についてお知らせいたします。

なお、今回の学力・学習状況調査は、以下の目的により行われ、学力の一面を測るものであり、この結果が学力の全てを表すものではないことをご理解願います。また、ご不明な点やお尋ね等がございましたら、学校へご連絡下さい。

1 調査の趣旨

- (1) 本県、本市児童生徒の学力や学習状況及び教師の学力向上への取組状況等について調査・分析することにより、熊本県教育委員会、玉名市教育委員会における教育施策の成果と課題を検証し、新たな取組の方向性を明らかにするなど、学力の向上に向けた施策の改善に資する。
- (2) 熊本県学力・学習状況調査と玉名市学力・学習状況調査の時期を合わせて実施することで、今後の各学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、学力向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 学力調査の結果(概要)

○熊本県学力・学習状況調査

	1年生	2年生
国語	県平均を大きく上回っている。	県平均を大きく上回っている。
数学	県平均を上回っている。	県平均を上回っている。
英語	県平均を大きく上回っている。	県平均と同程度である。

○玉名市学力・学習状況調査

	1年生	2年生
社会	市平均を大きく上回っている。	市平均を上回っている。
理科	市平均を上回っている。	市平均を上回っている。

3 質問紙調査の結果(概要)

本調査は、アンケート形式で、学習の様子や生活面等について質問したものです。県平均と比べて、特徴的な傾向がつかめる項目のみを紹介します。

1年生

<望ましい傾向:県平均を大きく上回った項目>

- 本当につらいことがあったとき、それを家の人のだれかに相談できますか。(家族のささえ)
 - 学校での日々の授業や活動の中で、自分人間として成長したな、少し大人になれたな、と感じることがありますか。(成功体験と自信)
 - これまでの人生で、心から感動したことがありますか。(感動体験)
 - 学校の規則や、クラスで話し合ったことを守っていますか。(規範意識)
 - あなたのクラスでは、みんながそうじ当番や係の仕事を責任をもってしていますか。(学級の規範意識)
 - 仲のいい友だちでも、本当は自分のことを悪く思っているかもしれない、と不安に思うことがありますか。【思うことがないと回答】(対人ストレス)
 - 学校の授業の予習や復習をしていますか。(学習習慣)
 - 学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。【週4~5日以上と回答】(学習習慣)
- <改善したい傾向:県平均を下回った項目>
- ▲クラスの人がふざけたり、おしゃべりしたりして、授業に集中できないことがありますか。(学級の規範意識)

2年生

<望ましい傾向:県平均を大きく上回った項目>

- 本当につらいことがあったとき、それを学校の先生に相談できますか。(先生の支え)
 - あなたのクラスでは、みんなが先生の言うことを守っていますか。(学級の規範意識)
 - クラスの人がふざけたり、おしゃべりしたりして、授業に集中できないことがありますか。【ほとんどないと回答】(学級の規範意識)
 - テストで間違えた問題は、あとでやり直していますか。(学習意欲)
 - ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。(学習意欲)
 - 友だちの意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思うことがありますか。(感動体験)
 - グループをつくるとき、一人ぼっちになるかもしれないと不安を感じることがありますか。【ないと回答】(対人ストレス)
 - 学校に持って行く物は、前の日のうちに確かめていますか。(生活習慣)
- <改善したい傾向:県平均を下回った項目>
- ▲近所の人にあつたときは、あいさつをしていますか。(規範意識)
 - ▲勉強するときは、自分で計画を立てていますか。(学習習慣)
 - ▲あなたは、学校生活の中で何回くらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。(発信力)

4 熊本県学力・学習状況調査、玉名市学力・学習状況調査結果を受けての今後の取組

2の学力調査の結果について、1年生は全教科で県または市の正答率を上回っていました。2年生は5教科中4教科で県または市の正答率を上回り、英語については県平均と同程度でした。

また、3の質問紙調査の結果からは、4月からの学校生活の中でさまざまな行事等を通して学級の絆が深まり、学級風土が醸成されたことや、学校全体で取り組んでいる「自律」と「協働」の授業改善の推進により、授業に意欲的に参加する生徒や授業で「わかった」「もっとやってみよう」と実感することができた生徒が増えている様子が見えてきます。反面、お互いのことが分かってくる中で規範意識への課題に気づいたり、授業での学びを家庭学習の充実に繋げる工夫が必要な生徒がいることもうかがえます。

本校では、本調査結果を各教科・学年で詳しく分析し、更に授業改善や学級の絆を深めるための取組を進めていきたいと考えております。併せて、結果をお子様へ返却する際には、一人一人の課題を克服できるような見通し及び手立て等について個別に助言を行い、今後の学力向上につながる教育指導の充実に努めていきます。

今後も、「自律」と「協働」の資質・能力を伸ばしながら、自立型人間の育成に励んでまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

